



令和2年度テーマ展

花巻市博物館
Hanamaki City Museumめでたい!
花巻人形2021
2/13(土)
▼
4/4(日)
会期中無休

テーマ展「めでたい！花巻人形」が2月13日から始まります。花巻人形には子どもたちが健やかに成長するよう、病気や天災などから生活を守るという願いも込められています。花巻市博物館には、3,500点以上の花巻人形が収蔵されています。今回の花巻人形展では、華やかで「おめでたく」て、思わず「愛でたく」なる花巻人形の奥深い魅力を紹介します。年度末で忙しい時期ですが、先生方に沢山来館していただきたいと思います。

3月28日(日)には、「花巻人形絵付け体験」を次の通り予定していますので、興味のある方は参加ください。電話での予約が必要です。既に受付が始まっています。定員になり次第締め切りになりますので、早めに予約ください。

花巻人形絵付け体験

日にち 令和3年3月28日(日)
時間 13:30～15:00
会場 花巻市博物館 講座・体験学習室
参加費 制作する花巻人形の種類によって1,600円～
定員 15名

【花巻市博物館電話予約番号 0198-32-1030】

今年の干支は牛ですが、花巻人形には牛を題材とした人形が多くあります。その中には、学問の神様としても信仰されている天神様が、牛の背に乗っている「牛乗り天神」の花巻人形が有りますので、紹介します。



牛 乗 り 天 神

「牛乗り天神」は、横たわる牛の背に乗る天神像である。太宰府天満宮の表参道の正面に大きな牛の置物がある。道真の遺体を乗せた牛が動かなくなったので、そこに埋葬したという故事に基づく。太宰府天満宮は、そこに建立されている。

花巻人形の牛乗り天神は、牛にも梅の花が描かれる。牛に乗った天神は、本を開き、学問を志す子供たちを見守るかのような慈愛に満ちた目をしている天神である。

牛と天神とは、農耕神として天神信仰から来たとされ、天候と五穀豊穡が牛に込められているともされる。

「花巻人形の世界」47ページより引用
発行：盛岡出版コミュニティー 著者：高橋信雄

出前授業「花巻人形」の紹介

昨年の12月16日（水）に花巻市立西南中学校特別支援学級で「花巻人形」の出前授業を行いました。

前半の25分は、博物館の学芸員がスライドを使って花巻人形の歴史や制作過程、花巻人形の特徴について解説を行いました。その次に、手指の消毒を行った後、実物の花巻人形に触れ、重さや色調、花模様の様子などを観察しました。

後半は、「花巻人形カード」を使い、取材に来ていた岩手日報の記者の方と生徒、担任、学芸員、社会教育指導員の5名で神経衰弱ゲームを行いながら、色々な花巻人形（写真）に親しみました。



スライドを使った解説の様子



実物の花巻人形を観察



「花巻人形カード」を手に持って写真撮影